

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成22年2月25日(2010.2.25)

【公開番号】特開2007-189695(P2007-189695A)

【公開日】平成19年7月26日(2007.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2007-028

【出願番号】特願2007-4402(P2007-4402)

【国際特許分類】

H 04 W 74/08 (2009.01)

H 04 W 84/12 (2009.01)

【F I】

H 04 L 12/28 307

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月12日(2010.1.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2つの装置によるパケットの同時送信が衝突を引き起こす少なくとも第1装置と第2装置とを有するネットワークにおける方法であって、

前記第2装置において、

第1部分と第2部分とを有するパケットであって、該パケットのソースアドレス及びデスティネーションアドレスの識別を少なくとも有する第2部分を有するパケットを受信するステップと、

前記パケットの第1部分の受信中に衝突を検出した場合には、衝突検出を示すパケットを発信しないステップと、

前記パケットの第2部分の受信中に衝突を検出した場合には、前記パケットの第1部分を正確に受信した後、衝突検出を示すパケットを発信するステップと、  
を有する方法。

【請求項2】

2つの装置によるパケットの同時送信が衝突を引き起こすネットワーク上で、衝突検出フィールドを有する第1部分と、該パケットのソースアドレス及びデスティネーションアドレスの識別を少なくとも有する第2部分とから構成されるパケットを受信するための装置であって、

前記受信したパケットの第1部分における衝突検出フィールドを識別する手段と、

前記パケットの第2部分の受信中に衝突を検出する手段と、

前記パケットの第2部分の受信中に衝突が検出された場合には、前記パケットの第1部分を正確に受信した後に衝突検出を示すパケットを発信し、前記パケットの第1部分の受信中に衝突が検出された場合には、衝突検出を示すパケットを発信しない手段と、  
を有する装置。